

7月10日 命の大切さを学ぶ

国東中学校で「思春期保健福祉体験学習」が行われ、同校の3年生が赤ちゃん人形触れ合い体験や妊婦体験をして、命の大切さを学びました。参加した松林隼人さん(写真左から2人目)は「貴重な体験ができたので、将来に役立てたいです」と感想を話してくれました。



7月10日 市のウイルス感染予防対策に役立てて

国東市資源循環事業協同組合の関係者が市役所を訪れ、市に50万円を寄付しました。代表理事の西田正孝さん(写真中央)は「新型コロナウイルスに苦しむ市内飲食店などの、ウイルス感染予防対策に役立ててください」と寄付の趣旨を述べました。



7月3日 併任辞令で税徴収率アップを目指す

大分県との職員派遣協定書に基づき、大分県税務所の特別滞納整理室の職員8名に、三河市長が併任辞令を交付しました。辞令の交付を受けた小野貴将さんは「国東市と連携し、税徴収率の向上や困難事案の解消を図りたいです」と意気込みを語っていました。



7月1日 活力創生課に新たな協力隊が誕生

市の地域おこし協力隊に、熊本県出身の藤原尚美さんが着任しました。藤原さんは活力創生課に所属し、空き家バンクを活用した移住定住業務に取り組みます。藤原さんは「利用者目線で空き家バンク物件を紹介して、移住者を増やしたいです」と抱負を述べました。



7月14日 高齢者疑似体験で人権を学ぶ

志成学園で「人権・福祉体験学習」が行われ、同学園の7年生(中学1年生)が高齢者疑似体験をしました。生徒は高齢者役と介助役に分かれ、むさし苑職員の指導のもと、車イスや白杖(歩行時に、路面の感触を捉えるために使う杖)の使用者への介助方法を学びました。



7月12日 国東高校の柔道部員が大活躍

国東町で一斉清掃が行われ、国東高校柔道部の部員約30名が粗大ごみの荷降ろしや回収車への積み込み作業を手伝いました。同校柔道部は、毎年ボランティアで清掃作業に参加してくれています。国東港に町内各所から集められた粗大ごみが運び込まれると、力自慢の部員たちが熱心に作業を行っていました。



7月9日 国東小がアマビエ横断幕を寄贈

疫病を退散させると伝わる妖怪「アマビエ」の切り絵を貼りつけた横断幕を国東小学校の6年生が制作し、市に寄贈しました。贈呈式に出席した佐野由奈さん(写真右から2人目)は「たくさん色を使って、カラフルに作りました」と笑顔で話してくれました。



7月3日 農業委員会委員に竹田津さんを任命

市の農業委員会委員に、新たに竹田津誠一さん(国見町竹田津)が任命されました。竹田津さんは「農地利用の最適化や、農業の担い手不足の解消に寄与したいです」と力強く話していました。

